

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益の実績と予想

(単位：億円)

製品名	2017年3月期 第1四半期連結累計期間			当連結会計年度		
	実績	前年同期比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
オブジーボ点滴静注	252	+238	+1,640.7%	1,260	+1,048	+495.7%
グラクティブ錠	77	△5	△6.0%	295	△19	△6.1%
オパルモン錠	47	△15	△24.8%	175	△52	△22.9%
リカルボン錠	29	△0	△0.7%	115	+2	+1.8%
フォシーガ錠	18	+10	+124.7%	100	+57	+134.0%
オレンシア皮下注	26	+9	+48.4%	100	+20	+24.8%
イメンド/プロイメンド	25	+2	+6.4%	100	+5	+5.6%
リバスタッチパッチ	22	+3	+13.9%	90	+12	+14.9%
オノンカプセル	17	△5	△23.3%	65	△25	△27.4%
オノアクト点滴静注用	14	+0	+2.9%	65	+8	+13.9%
ステーブラ錠	13	△1	△6.9%	50	△2	△3.2%
オノンドライシロップ	11	△3	△20.0%	45	△11	△19.7%
フオイパン錠	11	△4	△25.6%	40	△12	△22.4%
キネダック錠	8	△3	△28.2%	30	△11	△26.6%
注射用エラスポール	3	△2	△47.7%	10	△7	△42.8%

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースで売上を開示しております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
製品商品	337	536
ロイヤルティ・その他の営業収益	20	51
合計	357	588

(注) ロイヤルティ・その他の営業収益の中には、「オブジーボ点滴静注」のロイヤルティ収入が前第1四半期連結累計期間に6億円、当第1四半期連結累計期間に43億円含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
日本	338	537
米州	14	43
アジア	5	6
欧州	1	1
合計	357	588

(4) 前第1四半期の退職給付制度改定の影響を除いた業績と当第1四半期の業績との比較

2015年4月に退職給付制度の改定に関する労使の合意がなされたため、前第1四半期連結累計期間において、改定後の退職給付制度に基づく退職給付債務の数理計算および過去勤務費用の算定を行いました。その結果、前第1四半期連結累計期間において、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響で「売上原価」が4億円、「研究開発費」が22億円、「販売費及び一般管理費」が37億円それぞれ減少したため、「営業利益」が63億円増加しました。この影響を除いた前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間の業績（実績比）は以下のとおりであります。

(単位：億円)

損益の状況	2016年3月期 第1四半期 連結累計期間		2017年3月期 第1四半期 連結累計期間		
	実績	退職給付制度の 改定の影響を除 いた場合の実績	実績	前年同期 実績比	前期の退職給付制度 改定の影響を除いた 場合の前年同期 実績比
売上収益	357	357	588	64.6%	64.6%
売上原価	92	97	162	75.6%	67.8%
売上総利益	265	260	426	60.8%	63.4%
販売費及び一般管理費	68	105	141	105.7%	34.1%
研究開発費	78	101	111	41.9%	10.6%
営業利益	117	54	172	47.7%	220.7%
税引前四半期利益	132	69	182	38.1%	164.0%
法人所得税	37	19	45	21.8%	135.8%
四半期利益	95	50	137	44.5%	174.9%
うち親会社の所有者に 帰属する四半期利益	95	50	137	44.7%	175.9%